

平成28年度

健康診査等・がん検診について

楽しくいきいきとした生活を送るためには、元気なときから定期的な身体チェックを怠らないことが大切です。格安で便利な町の健康診査やがん検診を是非活用して下さい！



受診券つづりを郵送します

「住民の皆さんが受けやすい健診」を目指し、対象となるすべての方に、オレンジ色の封筒で健康診査の受診券とがん検診の受診券が一冊になった『健康診査・がん検診受診券つづり』をお送りします。この受診券で各地区での集団健診または医療機関での健診（個別健診）が受診できます（受診できない項目は「*****（アスタリスク）」で塗りつぶされています）。

今まで「自分は医療機関に定期的にかかっているから町の健診は受けない」と言われていた方も、医療機関でも健診が受けられますので、ぜひ、お送りする受診券を使って健診を受けましょう。なお、受診意向調査書を同封していますので、回答にご協力くださいますよう、お願いいたします。

受診できる期間

平成28年5月10日（火）～平成29年2月28日（火）
※集団健診の日程は、町民カレンダー4月号裏面の平成28年度集団健診日程表でご確認ください。

受診できる医療機関

受診券つづりに同封する個別健（検）診実施医療機関一覧や町ホームページでご確認ください。

■ 問合せ 保健福祉課 ☎ 47-8007

おながい

① 受診券つづりを送付するのは、平成29年3月31日現在で40歳以上になる方です（子宮頸がんは20歳以上の女性の方にも送付します）。40歳未満の方で、胃がん・肺がん・大腸がん検診の受診を希望される方は、保健福祉課までお問い合わせください。

② 婦人がん（乳・子宮）検診を、町の集団検診会場で受診される方は、当日の混雑を避けるため保健福祉課まで事前予約をお願いします。

③ 大腸がん検診については、過去5年間で1度でも大腸がん検診を受診された方を対象に、検査容器を同封します。同封されていない方の方で受診を希望する方は、保健福祉課または、各総合事務所へお電話ください。

町が実施する健診の耳より情報

その1 特定健診とがん検診の同時受診が可能です。

その2 安価な負担金で受診でき、生活習慣病を早期から発見することがあります。

その3 節目年齢の方は無料で受診できます。

★節目年齢とは、平成28年度中に次の年齢になる方です

【特定健診】南越前町国民健康保険加入者で41、46、51、56、61、66、71歳になる方（受診券の自己負担金額欄に「無料」と表示）

【がん検診】次の年齢になる方（無料クーポン券を別にお送りします。）

子宮頸がん検診	21、26、31、36、41歳になる女性
乳がん検診	41、46、51、56、61歳になる女性
大腸がん検診	41、46、51、56、61歳になる方
肝炎ウイルス検査	41、46、51、56、61、66、71歳になる方

《健康診査について》

糖尿病、高血圧症など主に生活習慣病の予防に着眼した健康診査です。

● 国民健康保険被保険者（特定健康診査）

対象者：40～74歳
自己負担金：1,500円

● 後期高齢者医療被保険者（後期高齢者健康診査）

対象者：75歳以上の方
自己負担金：無料（がん検診は有料）

● 若年者（一般健康診査）

対象者：40歳未満の方
自己負担金：1,500円

※全国健康保険協会（協会けんぽ）などに加入している方（会社員やその配偶者など）は、加入している医療保険者にお問い合わせください。

町の胃がん検診が変わります

変更点

従来のX線検査に加えて、内視鏡検査も受けられます。ただし、同じ年度に両方を受けることは出来ません。

※内視鏡検査は50歳以上が対象で、**2年に1回**となります。(医療機関のみ)

理由

生活環境の変化によって胃がんの原因となるピロリ菌感染率が低下し、40歳以上を対象に胃がん検診が開始された昭和58年頃と比べると、当時の40歳代の胃がん罹患率が今では男女とも50歳以上に相当します。

内視鏡・X線検査ともに、2年に1回受診すれば胃がんによる死亡の危険を減らせることが分かってきました。

町の乳がん検診が変わります

方法が変更

従来のマンモグラフィと視触診の併用からマンモグラフィ単独に変更となります。

※ただし個別検診では、ご希望があれば視触診も行います。

理由

視触診の精度管理が難しく、視触診担当医の確保が困難となっています。

海外の多くの国では、マンモグラフィ単独検診を行っています。
視触診を希望しない受診者が受診し易くなります。

《がん検診について》

加入している保険に関係なく、住民の方であればご自身でも受診することができます。

ピロリ菌検査も実施しています。

《持ち物(忘れずにお持ちください)》

- ・受診券つづり(受診券表面の問診票の記入が必要です)
- ・健康保険証
- ・自己負担金
- ・大腸がん容器(受診者のみ)

町が実施するがん検診の対象者と自己負担金一覧

種類	実施の方法	対象者	自己負担金
胃がん検診	集団 (バリウムによるX線撮影)	20歳以上 74歳以下	900円
		75歳以上	200円
	医療機関 (バリウムによるX線撮影)	20歳以上 74歳以下	1,000円
		75歳以上	1,000円
	医療機関(2年に1度) (胃内視鏡検査)	50歳以上 74歳以下	2,000円
		75歳以上	2,000円
大腸がん検診	集団	20歳以上 74歳以下	500円
		75歳以上	100円
	医療機関	40歳以上 74歳以下	500円
		75歳以上	500円
肺がん検診	集団 (胸部レントゲン検査)	20歳以上 74歳以下	500円
		75歳以上	100円
	集団 (喀痰)	20歳以上 74歳以下	500円
		75歳以上	100円
	医療機関 (胸部レントゲン検査)	40歳以上 74歳以下	500円
		75歳以上	500円
乳がん検診 (2年に1度)	集団 (乳房X線検査)	40歳以上 74歳以下の女性	1,000円
		75歳以上の女性	200円
	医療機関 (乳房X線検査)	40歳以上 74歳以下の女性	1,000円
		75歳以上の女性	1,000円
子宮頸がん検診 (2年に1度)	集団	20歳以上 74歳以下の女性	600円
		75歳以上の女性	100円
	医療機関	20歳以上 74歳以下の女性	1,000円
		75歳以上の女性	1,000円
前立腺がん検診 (50歳以上の男性)	集団	50歳以上 74歳以下	600円
		75歳以上	100円
骨粗しょう症検診 (女性のみ)	集団	20歳以上 74歳以下の女性	1,000円
		75歳以上の女性	1,000円
肝炎ウイルス検診	集団(B型)	40歳以上 74歳以下	100円
	集団(C型)	40歳以上 74歳以下	600円
ピロリ菌検査	集団	20歳以上	500円